

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載  
 【部門区分】第6部門第2区分  
 【発行日】平成29年4月6日(2017.4.6)

【公開番号】特開2015-166827(P2015-166827A)  
 【公開日】平成27年9月24日(2015.9.24)  
 【年通号数】公開・登録公報2015-059  
 【出願番号】特願2014-41675(P2014-41675)  
 【国際特許分類】

G 0 3 G 15/00 (2006.01)

B 6 5 H 5/06 (2006.01)

G 0 3 G 21/16 (2006.01)

【F I】

G 0 3 G 15/00 5 2 6

B 6 5 H 5/06 P

B 6 5 H 5/06 F

G 0 3 G 15/00 5 5 4

【手続補正書】

【提出日】平成29年3月2日(2017.3.2)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

シートを搬送するための回転部材と、  
 前記回転部材を駆動する正逆転可能な駆動手段と、  
 前記回転部材と連結された従動側ギアと、  
 前記従動側ギア及び前記駆動手段の間に設けられ、前記駆動手段の正逆転を前記従動側ギアに伝達可能な駆動側ギアと、

前記駆動側ギアを支持し、前記駆動側ギアが前記従動側ギアと噛合する状態となる駆動伝達位置及び前記駆動側ギアが前記従動側ギアから離間する伝達解除位置に回動可能な支持手段と、

閉鎖時には前記支持手段を前記駆動伝達位置に保持し、開放時には前記保持を解除して前記支持手段を前記伝達解除位置へ移動可能にする開閉可能に支持された扉と、

前記扉が閉鎖された状態で前記駆動手段が逆回転した場合に、前記駆動側ギアが前記従動側ギアとの噛合を保つように前記駆動側ギアが前記従動側ギアと噛合する方向に前記支持手段を付勢する付勢手段と、を備えたことを特徴とする画像形成装置。

【請求項2】

前記駆動手段が正回転した際には、前記駆動側ギアと前記従動側ギアとの噛合により、前記駆動側ギアが前記従動側ギアに対して噛合する方向に前記支持手段に力が加わり、前記駆動手段が逆回転した際には、前記駆動側ギアが前記従動側ギアに対して噛合を解除する方向に前記支持手段に力が加わるように、前記駆動側ギアと前記従動側ギアとを配置することを特徴とする請求項1記載の画像形成装置。

【請求項3】

前記従動側ギアの軸を、前記回転部材の軸と前記駆動側ギアの軸を結ぶ直線よりも、前記駆動手段が正回転した際、前記駆動側ギアにより前記従動側ギアに作用する力の方向における上流側にずれた位置に配置することを特徴とする請求項2記載の画像形成装置。

## 【請求項 4】

前記扉が閉鎖された際、前記駆動側ギアを前記従動側ギアに噛合する位置に位置決めする位置決め手段を備えたことを特徴とする請求項 1 乃至 3 の何れか 1 項に記載の画像形成装置。

## 【請求項 5】

前記付勢手段は、

前記支持手段の回動端に移動可能に支持され、前記扉により押圧されて移動するスライド部材と、

前記支持手段及び前記スライド部材の間に設けられ、前記扉により押圧されて移動する前記スライド部材を介して前記支持手段を付勢する付勢部材と、を備えることを特徴とする請求項 1 乃至 4 の何れか 1 項に記載の画像形成装置。

## 【請求項 6】

前記扉が閉鎖された際の前記扉と前記スライド部材との当接位置を、前記扉の軸支部よりも画像形成装置本体内側に設定することを特徴とする請求項 5 記載の画像形成装置。

## 【請求項 7】

前記支持手段を、前記伝達解除位置の方向に回動するよう付勢し、前記扉が閉鎖された際、前記スライド部材を前記扉に圧接させる支持手段付勢部材を備えたことを特徴とする請求項 6 記載の画像形成装置。

## 【請求項 8】

前記駆動側ギアは、前記扉が閉鎖される前に前記従動側ギアと噛合することを特徴とする請求項 1 乃至 7 の何れか 1 項に記載の画像形成装置。

## 【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0009

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0009】

本発明は、画像形成装置において、シートを搬送するための回転部材と、前記回転部材を駆動する正逆転可能な駆動手段と、前記回転部材と連結された従動側ギアと、前記従動側ギア及び前記駆動手段の間に設けられ、前記駆動手段の正逆転を前記従動側ギアに伝達可能な駆動側ギアと、前記駆動側ギアを支持し、前記駆動側ギアが前記従動側ギアと噛合する状態となる駆動伝達位置及び前記駆動側ギアが前記従動側ギアから離間する伝達解除位置に回動可能な支持手段と、閉鎖時には前記支持手段を前記駆動伝達位置に保持し、開放時には前記保持を解除して前記支持手段を前記伝達解除位置へ移動可能にする開閉可能に支持された扉と、前記扉が閉鎖された状態で前記駆動手段が逆回転した場合に、前記駆動側ギアが前記従動側ギアとの噛合を保つように前記駆動側ギアが前記従動側ギアと噛合する方向に前記支持手段を付勢する付勢手段と、を備えたことを特徴とするものである。